

航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成20年4月～平成21年3月)

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/4/1	エアーストラル	ボンバルディア式 DHC-8-402型	仙台	中部国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/1	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	名古屋 (小牧)	那覇	試験飛行における巡航中、非常用電源装置が正常に作動しなかった。	
2008/4/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	鹿児島	大阪国際	巡航中、第2エンジンの滑油圧力の低下を示す計器表示があったため当該エンジンを停止し、管制上の優先権を要請の上飛行を継続し、目的地に着陸した。	イレギュラー運航
2008/4/2	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	アムステル ダム	離陸時、鳥衝突により第4エンジンのファンブレード等を損傷したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/4/2	エアーストラル	ボンバルディア式 DHC-8-402型	大阪国際	新潟	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/2	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	地上滑走中、左主翼の高揚力装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/4/3	ジャルウェイズ	ボーイング式747-300型	成田国際	コナ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/3	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	新千歳	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/4/4	ジャルウェイズ	ボーイング式747-300型	成田国際	ホノルル	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/4	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/4	全日本空輸	ボーイング式777-200型	成田国際	バンコク	巡航中、後方貨物室の火災を示す表示があったため、消火を実施し目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/4/5	エアーストラル	ボーイング式737-500型	関西国際	鹿児島	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/5	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	福岡	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300ER型	ソウル (仁川)	成田国際	出発前の点検で、非常口を示すライトの一部が点灯しないことを発見した。	
2008/4/6	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	那覇	那覇	耐空検査中、与圧制御装置が正常に作動しないことが発見された。	
2008/4/6	エアーストラル	ボーイング式737-700型	ムンバイ	成田国際	飛行中、客室天井部に設置されたモニター装置が脱落した。	
2008/4/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	仙台	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/7	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	鹿児島	喜界	離陸直後、左エンジンの計器に不具合が発生し、その後プロペラの回転数が低下したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/4/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	山口宇部	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/4/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	ソウル (金浦)	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	サンフラン シスコ	成田国際	着陸時、横風により第4エンジン下部が接地し損傷した。	
2008/4/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	小松	東京国際	進入中、被雷により左前方機体外板等を損傷した。	
2008/4/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	岡山	東京国際	進入中、被雷により前方荷物室付近機体外板を損傷した。	
2008/4/8	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	福岡	名古屋 (小牧)	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が生じた。	
2008/4/8	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	アンカレッジ	着陸後、一時的に乗員休憩室内に煙が発生したことを示す計器表示があった。	
2008/4/9	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	東京国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/4/9	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	松山	大阪国際	巡航中、第1エンジンから異音が発生した。着陸後の点検で、第1エンジンの圧縮機のブレードに損傷を発見した。	
2008/4/10	全日本空輸	ボーイング式777-200型	鹿児島	東京国際	管制指示により降下中、運用限界速度を超過した。	
2008/4/10	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	釧路	札幌(丘珠)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/4/10	全日本空輸	ボーイング式747-400型	成田国際	パリ	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/4/10	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	那覇	東京国際	着陸時、通路上のライトのカバーが脱落した。	
2008/4/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	神戸	那覇	到着後の点検で、鳥衝突による左主翼外側高揚力装置の損傷を発見した。	
2008/4/11	スカイマーク	ボーイング式767-300型	那覇	東京国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/4/12	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	徳島	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/12	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	関西国際	大連	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	関西国際	石垣	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	熊本	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/4/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/4/13	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	大阪国際	福岡	出発前の点検で、非常灯及び非常口を示すライトの一部が点灯しないことを発見した。	
2008/4/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	巡航中、航法用表示装置に不具合が発生した。	
2008/4/14	ギャラクシーエアラインズ	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	—	—	耐空検査中、非常用電源装置が正常に作動しなかった。	
2008/4/15	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	那覇	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/16	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	ロンドン	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/16	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	成田国際	マニラ	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	シカゴ	ニューヨーク	出発前の点検で、左主脚の格納扉の損傷を発見した。	
2008/4/16	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	福岡	離陸滑走中、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/4/16	エアーセントラル	ボンバルディア式DHC-8-402型	仙台	大阪国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/16	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	ロサンゼルス	離陸後、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/4/17	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	鹿児島	大阪国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/17	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	高知	関西国際	上昇中、第2エンジンのタービン温度が運用限界を超過した。	
2008/4/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	福岡	那覇	離陸直後、脚上げ操作を実施したところ、不具合を示す計器表示があったため、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2008/4/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	マニラ	成田国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	那覇	東京国際	誤った部品番号の客室映像投影装置が装着されていることを発見した。	
2008/4/18	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	宮崎	離陸後、上昇中、高揚力装置の格納を失念し、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2008/4/21	全日本空輸	ボーイング式777-200型	—	—	酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2008/4/22	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	青森	中部国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	福岡	巡航中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/4/23	北海道国際航空	ボーイング式737-400型	旭川	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/24	エアーセントラル	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	福岡	到着後、機体後方貨物室の最大搭載重量の超過が発見された。	
2008/4/24	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	鹿児島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/4/24	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/4/24	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300F型	関西国際	青島(中国)	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/4/25	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	函館	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	アモイ	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/25	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/25	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	福岡	宮崎	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/26	エアネクスト	ボーイング式737-500型	那覇	福岡	離陸後、脚上げ操作を実施しようとしたが、脚操作レバーが動かなかったため出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/4/26	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	成田国際	北京	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/4/27	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/4/27	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	到着後の点検で、非常灯の一部が点灯しないことを発見した。	
2008/4/29	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/4/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2008/4/29	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	大阪国際	山形	離陸直後、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/4/30	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	那覇	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/1	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	那覇	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/2	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	鹿児島	種子島	離陸滑走中、ドアが完全に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
2008/5/3	エアニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-314型	札幌(丘珠)	函館	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/4	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	関西国際	アンカレッジ	着陸復行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	長崎	地上走行中、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/5/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	宮古	那覇	到着時、ドアモードを一部変更していなかったことを発見した。	
2008/5/6	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	成田国際	マニラ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	宮古	石垣	降下中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	石垣	那覇	離陸後、上昇中、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
2008/5/9	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	種子島	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/11	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	秋田	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	大連	成田国際	上昇中、高揚力装置の格納を失念し、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2008/5/11	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	鹿児島	長崎	離陸後、燃料系統の不具合により第2エンジンの出力が低下した。	
2008/5/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	那覇	着陸時、ギャレーからカートが移動し、通路に向けて転倒した。	
2008/5/13	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	福岡	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/5/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/13	スカイマーク	ボーイング式767-300型	神戸	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/13	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	関西国際	高知	巡航中、被雷により胴体下部外板及び右側昇降舵端を損傷した。	
2008/5/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	大連	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/13	ジャルウェイズ	ボーイング式747-400型	成田国際	シドニー	到着後の点検で、機体下部のパネルが脱落しているのが発見された。	
2008/5/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	神戸	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/15	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	鹿児島	大阪国際	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	熊本	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/5/15	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	離陸滑走中、非常口を示すライトのカバーが脱落した。	
2008/5/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	到着後の点検で、スポイラーの一部が損傷しているのが発見された。	
2008/5/16	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	離陸滑走中、非常口を示すライトのカバーが脱落した。	
2008/5/17	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	関西国際	東京国際	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/17	エアージャパン	ボーイング式767-300型	成田国際	上海(浦東)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/17	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300F型	関西国際	上海(浦東)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/17	ジャルウェイズ	ボーイング式747-300型	デンバサル	成田国際	到着後の点検で、右主翼高揚力装置の後縁が損傷しているのが発見された。	
2008/5/19	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	稚内	離陸直後、脚上げ操作を失念したため、脚下げ時の運用限界速度を超過した。	
2008/5/21	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	青森	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/21	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	成田国際	香港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/5/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	成田国際	台北	巡航中、機長席側操縦室窓に亀裂が発生したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/5/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	離陸直後、第1エンジンの排気温度が運用限界を超過したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/5/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	成田国際	フランクフルト	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	新千歳	巡航中、対地接近警報装置の不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	新千歳	巡航中、対地接近警報装置の不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/5/23	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	東京国際	佐賀	降下中、鳥衝突により機首部分を損傷した。	
2008/5/23	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	東京国際	青森	降下中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	那覇	訓練飛行中、第2エンジン回転数が運用限界を超過した。	
2008/5/24	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	大分	離陸滑走中、操縦士座席の固定が外れ後方へ移動した。	
2008/5/25	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	福岡	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	東京国際	ソウル(金浦)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	神戸	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/5/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	那覇	関西国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/29	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	フランクフルト	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/29	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	神戸	新千歳	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/29	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	着陸時、操縦室内上部の非常口を示すライトが脱落した。	
2008/5/29	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	新千歳	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/5/29	エア・ネクスト	ボーイング式737-500型	新潟	福岡	出発前の点検で、右主翼のスポイラーの一部が正常の位置にないことが発見された。	
2008/5/29	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	中部国際	新千歳	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/5/31	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	石見	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	神戸	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	神戸	東京国際	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	進入中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/5/31	スカイマーク	ボーイング式767-300型	那覇	東京国際	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2008/6/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	宮崎	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	北京	成田国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/1	エア・ニッポン	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	佐賀	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
2008/6/2	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	クアラルンプール	シンガポール	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	那覇	着陸時、第2エンジンの逆推力装置の不具合が発生した。	
2008/6/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	鹿児島	大阪国際	運航整備中、第2エンジンの逆推力装置の覆いに損傷が発見された。	
2008/6/3	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	新千歳	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が作動しなかった。	
2008/6/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	小松	着陸時、第2エンジンの逆推力装置の不具合が発生した。	
2008/6/4	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	稚内	東京国際	降下中、前方貨物室扉の不具合を示す計器表示があった。	
2008/6/4	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	アムステルダム	巡航中、自動操縦装置の不具合が発生し、高度が上昇し速度が低下した。	
2008/6/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	新千歳	関西国際	降下中、油圧系統の不具合により、一部のスポイラーが不動作となった。	
2008/6/5	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	福岡	中部国際	降下中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/6/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	宮古	東京国際	離陸滑走中、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界温度を超過した。	
2008/6/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	瀋陽(中国)	成田国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/5	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	杭州(中国)	関西国際	着陸時、客室天井部に設置されたモニター装置が脱落した。	
2008/6/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	中部国際	福岡	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/6/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	旭川	東京国際	巡航中、化粧室の煙探知機が作動した。	
2008/6/6	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	中部国際	新千歳	巡航中、後方貨物室扉の不具合を示す計器表示があった。	
2008/6/6	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	降下中、補助翼の作動制御機構の不具合を示す計器表示があった。	
2008/6/6	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	台北	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/7	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	東京国際	奄美	上昇中、第1エンジンの滑油系統の不具合を示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/6/7	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	ソウル(仁川)	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	巡航中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/6/9	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	台北	中部国際	誤った部品番号のスポイラーが装着されていることを発見した。	
2008/6/9	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	台北	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/9	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	台北	成田国際	運航整備中、第2エンジンのファンブレードが損傷しているのを発見した。	
2008/6/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	福島	到着後の点検で、左昇降舵上面及び左昇降舵タブ後縁に被雷による損傷を発見した。	
2008/6/11	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/11	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	福岡	大阪国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	新千歳	岡山	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/12	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	函館	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	大阪国際	誘導路上で停止中、後方を通過した他機の翼端が機体尾部に接触し損傷した。	イレギュラー運航
2008/6/12	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400D型	東京国際	那覇	地上走行中、誘導路上で停止中の他機の尾部に主翼翼端を接触し損傷した。	イレギュラー運航
2008/6/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	東京国際	函館	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が作動しなかった。	
2008/6/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	大阪国際	新千歳	上昇中、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/6/14	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	仙台	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/14	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	—	—	誤った部品番号の飛行記録装置が取り付けられていることを発見した。	
2008/6/14	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	鹿児島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	東京国際	成田国際	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が作動しなかった。	
2008/6/14	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	大阪国際	山形	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/6/15	全日本空輸	ボーイング式777-200型	鹿児島	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/6/15	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	那覇	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/6/16	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	鹿児島	喜界	巡航中、被雷により右側補助翼等を損傷したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/6/16	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	山形	誤った部品番号の抽気バルブが取り付けられているのを発見した。	
2008/6/17	エア・ニッポン	エアバス・インダストリー式A320-200型	大阪国際	大分	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/17	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	大分	大分	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-200型	天津	中部国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/6/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	乗客の乗機中、非常灯が意図せず点灯した。	
2008/6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、左側後方翼上非常口の脱出スライドが正常に展開しないことを発見した。	
2008/6/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	進入中及び着陸後、非常灯が意図せず点灯した。	
2008/6/18	エアーニッポン	ボーイング式737-500型	福岡	福江	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	高松	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	地上滑走中、非常灯が意図せず点灯した。	
2008/6/19	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	那覇	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/20	全日本空輸	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/20	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	熊本	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/20	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	シンガポール	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/20	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	仙台	中部国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/20	日本エアコミューター	ボンバルディア式 DHC-8-402型	鹿児島	屋久島	離陸滑走中、第1エンジンの燃料フィルターに不具合があったことを示す計器表示があった。	
2008/6/20	エアーネクスト	ボーイング式737-500型	宮古	那覇	進入中、左主翼の高揚力装置に不具合が発生し、機体が偏向した。	
2008/6/21	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	釜山	成田国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/21	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	山口宇部	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/21	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	アムステルダム	成田国際	地上走行中、客室天井部の空調吹き出し口のパネルが脱落した。	
2008/6/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	高松	東京国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/6/23	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	—	—	定期整備中、誤った部品番号の客室乗務員用座席ベルトが取り付けられていることを発見した。	
2008/6/24	全日本空輸	ボーイング式777-200型	中部国際	那覇	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/24	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	東京国際	那覇	上昇中、副操縦士席側操縦室窓から空気漏れの音がしたため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/6/24	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	杭州(中国)	上昇中、第1エンジンに異音が発生し排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/6/25	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	大阪国際	仙台	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/25	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	長崎	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/26	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-314型	札幌(丘珠)	女満別	進入中、前脚が正常に格納されていないこと及び格納扉が閉じられていないことを示す計器表示があった。	
2008/6/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	中部国際	那覇	降下中、被雷により機体外板を損傷した。	
2008/6/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	関西国際	那覇	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	中部国際	那覇	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	広州(中国)	中部国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	仙台	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	熊本	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/6/29	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-402型	大阪国際	佐賀	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	宮古	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/1	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	鹿児島	東京国際	進入中、電源系統に不具合が発生した。	
2008/7/1	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	熊本	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/1	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	シカゴ	成田国際	離陸後、第2エンジンに鳥が衝突したため、当該エンジンを停止し出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/7/2	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	那覇	宮古	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/2	エア・ネクスト	ボーイング式737-500型	那覇	石垣	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/3	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/3	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	佐賀	大阪国際	進入中、自動操縦装置に不具合が発生した。	
2008/7/3	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	フランクフルト	成田国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/3	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	広島	東京国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/4	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	—	—	誤った部品番号の電気コネクタ系統の部品が装着されていることを発見した。	
2008/7/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	関西国際	福島	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/4	エア・ジャパン	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	成田国際	進入中、機内放送装置が不動作となった。	
2008/7/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	福岡	高知	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/4	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	大館能代	東京国際	航行中、一時的に全てのVHF無線電話による送信ができなくなった。	
2008/7/4	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	紋別	東京国際	航行中、一時的に全てのVHF無線電話による送信ができなくなった。	
2008/7/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	新千歳	離陸時、電源系統の不具合を示す計器表示があった。	
2008/7/6	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	天草	熊本	旅客搭乗開始後、補助動力装置の排水管マストからの燃料漏れが発見された。	
2008/7/6	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	小松	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/6	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	東京国際	三沢	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/7	全日本空輸	ボーイング式747-400型	函館	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/7	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	関西国際	新千歳	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/7	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	ロサンゼルス	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	仙台	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/7/8	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300F型	上海(浦東)	成田国際	巡航中、乱気流に遭遇し、承認高度を逸脱した。	
2008/7/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	神戸	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/10	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/10	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	大阪国際	青森	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/10	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	地上走行中、電源系統に不具合が発生した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/7/10	エアーニッポン	ボーイング式737-500型	—	—	運航整備中、右主翼の一部のスポイラーパネルの後縁が浮き上がっていることを発見した。	
2008/7/10	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	高知	上昇中、前脚が正常に格納されていないこと及び格納扉が閉じられていないことを示す計器表示があったため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/7/11	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	秋田	進入中、被雷により左主翼ウイングレットを損傷した。	
2008/7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	着陸時、客室乗務員用座席上部のライトのカバーが脱落した。	
2008/7/12	全日本空輸	ボーイング式777-200型	—	—	定期整備中、酸素供給装置の有効期間の超過が発見された。	
2008/7/13	全日本空輸	エアバス式A320-211型	関西国際	女満別	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	ニューヨーク	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	福岡	那覇	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	那覇	中部国際	離陸後、鳥衝突により第3エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/7/14	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/7/14	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	巡航中、対地接近警報装置の不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/14	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	飛行中、与圧系統に不具合が発生したため、管制上の優先権を要請の上、飛行高度を変更した。	イレギュラー運航
2008/7/15	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	佐賀	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/15	ジャルウェイズ	ボーイング式767-300型	ホノルル	成田国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/15	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	神戸	東京国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/7/15	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/15	琉球エア・コミュニーター	ボンバルディア式DHC-8-103型	久米島	那覇	第2エンジン始動時にタービン温度が運用限界を超過した。	
2008/7/16	エアーニッポン	ボーイング式737-700型	アモイ	関西国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	石垣	巡航中、第2エンジンの火災警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/7/16	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/16	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	—	—	定期整備中、前方扉の下角部に損傷が発見された。	
2008/7/16	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/16	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/16	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	成田国際	北京	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	長崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	ロサンゼルス	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/18	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	鹿児島	奄美	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/7/18	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	福岡	東京国際	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	熊本	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	熊本	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/19	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/19	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/19	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	宮崎	中部国際	離陸後、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/7/21	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/21	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/22	全日本空輸	エアバス式A320-211型	東京国際	美保	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400D型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/22	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	新千歳	女満別	着陸時、脚下げ操作を行ったが、左主脚が脚下げ位置でロックされていないことを示す計器表示があった。	
2008/7/22	エアージャパン	ボーイング式767-300型	ホノルル	成田国際	地上走行中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/7/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	福岡	出発前の点検で、客席側面の非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/7/23	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	那覇	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	東京国際	新千歳	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/7/23	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	種子島	離陸後、高揚力装置の格納操作を行ったが、当該格納装置に不具合が発生し、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2008/7/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	上海(浦東)	成田国際	巡航中、操縦室内で異臭が発生し、一時的に煙の発生を視認したことから、乗員が念のため酸素マスクを使用した。	
2008/7/24	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/7/24	エアニッポン	ボーイング式737-500型	中部国際	仙台	飛行中、与圧系統に不具合が発生したため、管制上の優先権を要請の上、飛行高度を変更した。	イレギュラー運航
2008/7/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400D型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/25	エアニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	佐賀	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	旭川	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	美保	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	屋久島	鹿児島	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	—	—	定期整備中、胴体側面の非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/7/27	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	鹿児島	屋久島	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	東京国際	女満別	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/7/27	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	福岡	福江	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/27	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	秋田	大阪国際	整備中、垂直尾翼端覆いに損傷が発見された。	
2008/7/28	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	—	—	誤った部品番号のエロン制御モーターが装着されていることを発見した。	
2008/7/29	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	中部国際	長崎	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/29	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	名古屋(小牧)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/29	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/7/29	ギャラクシーエアラインズ	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	新千歳	関西国際	関西国際空港進入到達経路において、降下開始が早かったことにより規定高度から逸脱した。	
2008/7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	福岡	東京国際	巡航中、対地接近警報装置の不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/7/30	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	新千歳	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/7/31	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	鹿児島	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/1	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-200F型	シンガポール	バンコク	巡航中、乱気流に遭遇し、承認高度を逸脱した。	
2008/8/2	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	ロサンゼルス	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	降下中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった。	
2008/8/4	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	関西国際	東京国際	ブッシュバック後、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/8/5	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	成田国際	ソウル(仁川)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/5	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	神戸	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/6	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	上海(虹橋)	離陸滑走中、第2エンジンの燃料バルブに不具合があったことを示す計器表示があった。	
2008/8/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	仙台	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	熊本	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	福岡	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	福岡	上海(浦東)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300ER型	ロンドン	成田国際	出発前の点検で、右主翼上面に損傷を発見した。	
2008/8/8	全日本空輸	ボーイング式777-200型	鹿児島	東京国際	離陸滑走中、非常脱出口を示すライトのカバーが脱落した。	
2008/8/10	エア・セントラル	フォッカー式F27マーク050型	中部国際	仙台	巡航中、第1エンジンの滑油圧力の低下を示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/8/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	福岡	名古屋(小牧)	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/10	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	福岡	出雲	地上走行中、方向舵の制御系統の不具合を示す計器表示があった。	
2008/8/11	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	南大東	那覇	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/12	エア・ジャパン	ボーイング式767-300型	香港	東京国際	離陸滑走中、第2エンジンの抽気バルブに不具合を示す計器表示があった。	
2008/8/12	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	シンガポール	バンコク	飛行中、与圧系統に不具合が発生したため、飛行高度を変更した。	
2008/8/12	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	鹿児島	離陸滑走中、第1エンジンから異音が発生したため離陸を中止した。その後の点検で当該エンジン内部の損傷を確認した。	重大インシデント

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/8/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	熊本	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/13	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	仙台	中部国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	庄内	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	ソウル(仁川)	到着後の点検で、非常灯の電線が断線しているのが発見された。	
2008/8/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	成田国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/14	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	—	—	定期整備中、酸素生成装置が作動済であることが発見された。	
2008/8/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	富山	離陸直後、非常脱出口を示すライトのカバーが脱落した。	
2008/8/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/15	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	熊本	中部国際	到着後の点検で、機体外板に被雷による損傷が発見された。	
2008/8/16	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	出雲	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	エンジン停止後、機内放送装置が不動作となった。	
2008/8/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	ロサンゼルス	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/17	全日本空輸	ボーイング式747-400型	成田国際	パリ	着陸時、鳥衝突により第3エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/8/18	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	旭川	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	松山	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/19	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	鹿児島	沖永良部	出発前の点検で、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/8/19	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	杭州(中国)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/20	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	関西国際	女満別	離陸直後、脚上げ操作を実施したが、主脚格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/8/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、乗客用酸素供給装置に不具合があることを発見した。	
2008/8/21	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	—	—	定期整備中、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/8/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	長崎	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	小松	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/22	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	新千歳	関西国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/23	全日本空輸	ボーイング式777-200型	—	—	巡航中、被雷により航空機用救命無線機アンテナを損傷した。	
2008/8/24	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	仙台	福岡	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2008/8/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	出発前の点検で、化粧室内の煙検知装置に不具合があることを示す計器表示があった。	
2008/8/26	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	中部国際	仙台	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/8/26	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	那覇	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/26	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	名古屋(小牧)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/27	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	—	—	燃料供給中に左主翼上面より燃料漏れが発生した。	
2008/8/27	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	ローマ	成田国際	離陸時、客室中央のギャレー内に搭載されたリキッドコンテナが脱落した。	
2008/8/27	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	松本	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/28	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	関西国際	新千歳	ビトー管にカバーを装着したまま出発し、離陸直後、機首から異音が発生したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/8/28	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	ロンドン	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	関西国際	石垣	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/29	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	岡山	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/29	ジャルウェイズ	ボーイング式747-300型	関西国際	ホノルル	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/29	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	関西国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/8/29	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	鹿児島	地上走行中、一時的に中央タンク及び右タンクの燃料が無いことを示す計器表示があった。	
2008/8/29	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	関西国際	香港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/8/30	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	離陸後、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/8/30	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	鹿児島	奄美	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/8/30	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	出発前の点検で、化粧室内の煙検知装置に不具合があることを示す計器表示があった。	
2008/8/30	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	那覇	与論	巡航中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があったため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/8/30	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	福岡	大阪国際	離陸後、脚上げ操作を行ったが、脚が格納されなかった。	
2008/8/31	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300型	ソウル(仁川)	関西国際	着陸時、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
2008/9/1	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-200型	ソウル(仁川)	成田国際	出発前の点検で、乗員用酸素マスクが正常に機能しないことを発見した。	
2008/9/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	上海(浦東)	成田国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/1	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	アモイ	関西国際	誤った部品番号であるエルロン操舵系統部品が装着していることを発見した。	
2008/9/2	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	東京国際	佐賀	到着後の点検で、機体尾部の損傷を発見した。	
2008/9/2	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	隠岐	出雲	離陸滑走中、滑走路中央付近に鳥の群れを発見したため、臨界点速度近くで離陸を中止した。	
2008/9/3	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	シンガポール	成田国際	誤った部品番号の貨物室扉アクチュエータが装着していることを発見した。	
2008/9/3	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	福岡	鹿児島	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/3	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	離陸滑走中、鳥衝突によりNo.2エンジンの覆いが損傷した。	
2008/9/4	全日本空輸	ボーイング式777-200型	松山	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	石垣	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/4	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	上海(浦東)	地上走行中、上部方向舵の不具合が発生した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/9/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	新千歳	誤った部品番号である推力操作レバーアクチュエータを装着していることを発見した。	
2008/9/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	アンカレッジ	離陸後、電源系統に不具合が発生したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/9/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	新千歳	東京国際	巡航中、対地接近警報装置の不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/9/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	関西国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/6	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	到着後の点検で、第1エンジンのファンブレードに鳥衝突による損傷を発見した。	
2008/9/6	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/9/7	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	大阪国際	新潟	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/9/7	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	大阪国際	長崎	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/9/9	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	女満別	新千歳	着陸時、脚下げ操作を実施したが、主脚が脚下げ位置で固定されていないことを示す計器表示があった。	
2008/9/10	ジャルウェイズ	ボーイング式767-300型	デンバサール	関西国際	到着後の点検で、第2エンジンのファンブレードに鳥衝突による損傷を発見した。	
2008/9/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	地上滑走中及び離陸時、意図せず非常灯が一時的に点灯した。	
2008/9/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	地上滑走中及び離陸時、意図せず非常灯が一時的に点灯した。	
2008/9/10	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	東京国際	新千歳	出発前の点検で、誤った部品番号の座席ベルトが取り付けられているのを発見した。	
2008/9/11	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	高松	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/11	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	東京国際	岡山	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/9/11	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	秋田	着陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/9/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	関西国際	ロンドン	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/12	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	シカゴ	成田国際	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	ソウル(金浦)	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/13	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	香港	成田国際	着陸時、非常脱出口を示すライトのカバーが脱落した。	
2008/9/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	新千歳	富山	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	—	—	誤った部品番号のVHF受信機が取り付けられているのを発見した。	
2008/9/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	関西国際	函館	飛行中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/9/14	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	下地島	下地島	離着陸訓練中、脚上げ操作を行ったが、主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があった。	
2008/9/16	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-314型	札幌(丘珠)	女満別	耐空検査中、客室と圧警報装置が正常に作動しなかった。	
2008/9/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/9/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	巡航中、燃料量の計器表示に不具合が発生した。	
2008/9/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	関西国際	香港	離陸時、非常脱出口を示すライトのカバーが脱落した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/9/17	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	—	—	定期整備中、第2エンジンの逆推力装置の部品が誤った部品番号のものであることを発見した。	
2008/9/18	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	大阪国際	鹿児島	降下中、被雷により右側水平安定板及び胴体後方を損傷した。	
2008/9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/19	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	福岡	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/19	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式 DHC-8-201型	長崎	宮崎	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/19	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-402型	佐賀	大阪国際	離陸直後、脚格納室扉が確実に格納していないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/9/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	神戸	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/9/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	福岡	降下中、被雷により右側補助翼等を損傷した。	
2008/9/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	成田国際	マニラ	離陸直後、左燃料タンクの燃料量が通常よりも早く減少したため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/9/22	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	鹿児島	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/9/23	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	東京国際	出雲	到着後、副操縦士側の窓の機構部が損傷しているのを発見した。	
2008/9/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	高知	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/9/25	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	鹿児島	東京国際	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/9/25	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	東京国際	宮崎	航行中、機内放送装置が不作為となった。	
2008/9/26	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-402型	大阪国際	大阪国際	耐空検査中、代替操作による脚下げ操作を実施したが、前脚格納扉が開かなかった。	
2008/9/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	離陸滑走中、第2エンジンの抽気バルブに不具合が発生し離陸を中止した。	
2008/9/27	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	鹿児島	東京国際	巡航中、副操縦士側の窓に亀裂が発生したため、管制上の優先権を要請の上飛行を継続し、目的地へ着陸した。	イレギュラー運航
2008/9/27	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	自動操縦装置を使用した降下中、機首が通常よりも下がった状態となった。	
2008/9/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	那覇	東京国際	上昇中、被雷により左右のウイングレットを損傷した。	
2008/9/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	離陸滑走中、管制指示により、臨界点速度付近で離陸を中止した。	
2008/9/28	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-200F型	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸後の点検で、第3エンジンに鳥衝突による損傷が発見された。	
2008/9/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	—	—	定期整備中、左高揚力装置に鳥衝突による損傷が発見された。	
2008/9/28	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	成田国際	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/29	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	新千歳	福岡	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/29	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	中部国際	福岡	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/9/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	久米島	那覇	着陸時、脚下げ操作を実施したが、主脚が脚下げ位置で固定されていないことを示す計器表示があった。	
2008/9/29	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	八丈島	東京国際	離陸後、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
2008/9/30	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	長崎	東京国際	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/10/2	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	新千歳	中部国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/10/2	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	沖永良部	与論	脚下げ状態のまま飛行を継続し、目的地空港へ着陸した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/10/2	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	喜界	奄美	脚上げ操作を実施したが、左主脚が正常に格納されなかったため脚下げ状態のまま飛行した。	
2008/10/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	秋田	名古屋(小牧)	着陸後、第1エンジンに不具合が発生したため、エンジンを停止した。	
2008/10/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	中部国際	鹿児島	着陸時、両エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/3	全日本空輸	ボーイング式747-400型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/3	全日本空輸	ボーイング式777-200型	那覇	中部国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/3	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	新潟	名古屋(小牧)	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/3	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	青森	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/10/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	特別整備中、酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2008/10/3	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	最終進入中、方向舵のトリムが意図せず作動した。	
2008/10/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	那覇	東京国際	離陸後、規定された制限高度を逸脱して飛行した。	
2008/10/3	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	花巻	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	神戸	鹿児島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	熊本	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/5	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	—	—	整備作業中、客室の非常灯の一部が点灯しないことを発見した。	
2008/10/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	新千歳	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/10/7	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	宮崎	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/7	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	—	—	搭載している救急用具(生理食塩水)の有効期限超過により規定数に不足が生じていたことを発見した。	
2008/10/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/8	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	那覇	非常用発電装置の試験中、当該発電装置から一部の電気配電系統に電力が供給されていないことを発見した	
2008/10/9	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	中部国際	旭川	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/9	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	那覇	那覇	非常用発電装置の試験中、当該発電装置から一部の電気配電系統に電力が供給されていないことを発見した	
2008/10/10	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	成田国際	アンカレッジ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/10	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	鹿児島	東京国際	降下中、被雷により機体外板及び通信用アンテナを損傷した。	
2008/10/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	帯広	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	富山	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/10/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	北京	関西国際	管制機関から承認された高度を逸脱して上昇した。	
2008/10/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	巡航中、機内放送装置が不作為となった。	
2008/10/12	全日本空輸	ボーイング式747-400型	長崎	東京国際	油圧系統のポンプに不具合が発生したため、作動油が漏れ、着陸後ステアリングが不作為となった。	イレギュラー運航
2008/10/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	山口宇部	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/10/12	全日本空輸	エアバス式A320-214型	—	—	操縦席に用いられるハーネスに製造者が認めていないものを取り付けられていたことを発見した。	
2008/10/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	巡航中、対地接近警報装置の不作為であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/10/13	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	大阪国際	熊本	降下中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/14	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	大阪国際	熊本	上昇中、第2エンジンの回転数が運用限界を超過した。	
2008/10/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機(ELT)に不具合を発見した。	
2008/10/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	杭州(中国)	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/15	ジャルウェイズ	ボーイング式747-400型	ホノルル	成田国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/10/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	進入中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/10/19	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	新千歳	秋田	着陸時、発電機に不具合が発生したため、一時的に主電気配電システムの機能が喪失した。	
2008/10/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	新千歳	富山	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/10/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	巡航中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/10/19	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300F型	関西国際	天津	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/19	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	高知	大阪国際	離陸直後、脚格納室扉が確実に格納していないことを示す計器表示があった。	
2008/10/20	エアージャパン	ボーイング式767-300型	香港	東京国際	着陸時、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2008/10/20	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	出発前の点検で、非常灯の一部が点灯しないことを発見した。	
2008/10/20	エア・セントラル	ボンバルディア式DHC-8-402型	中部国際	松山	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/10/22	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	新潟	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/23	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-314型	札幌(丘珠)	女満別	試験飛行中、与圧系統に係る警報機能が正常に作動しなかった。	
2008/10/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	有効な航法用データベースに更新されていなかったため、当初計画した経路を飛行できなかった。	
2008/10/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	有効な航法用データベースに更新されていなかったため、当初計画した経路を飛行できなかった。	
2008/10/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	東京国際	新千歳	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	上昇中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/10/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	岡山	那覇	到着後に再計算したところ、重心位置限界を超過して運航していたことを確認した。	
2008/10/26	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	美保	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/26	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	旭川	東京国際	上昇中、被雷により右前方胴体外板を損傷した。	
2008/10/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	東京国際	新千歳	着陸時、第3エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	成田国際	アンカレッジ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	成田国際	アンカレッジ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/10/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	着陸後の点検で、左水平尾翼前縁部に損傷を発見した。	
2008/10/27	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/10/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	旅客搭乗後に発生した不具合の処理により機内放送装置(PA)が使用できなくなった。	
2008/10/29	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	東京国際	松山	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/29	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	青森	東京国際	非常用発電装置が作動しない状態であることを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/10/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	—	—	定時整備中、貨物室の消火装置が正しく設置されていないことを発見した。	
2008/10/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	中部国際	降下中、第1エンジンが一時的に停止した。	
2008/10/30	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	—	—	電波高度計のアンテナについて、製造者が認めていない異なる種類のものが混用されていることを発見した。	
2008/10/30	全日本空輸	エアバス式A320-214型	中部国際	広州(中国)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	—	—	整備中、貨物室の消火装置が正しく設置されていないことを発見した。	
2008/10/31	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	長崎	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/10/31	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	高松	鹿児島	離陸直前の動作確認中、方向舵のロックシステムに不具合が発生したためスポットに引き返した	
2008/10/31	エアーセントラル	ボンバルディア式DHC-8-402型	中部国際	仙台	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、対地接近警報装置の不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/11/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	出発前の点検で、非常灯の一部が点灯しないことを発見した。	
2008/11/2	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	松山	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/3	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	大分	承認高度の認識を誤り、管制指示とは異なる高度設定を行い承認高度を超過し上昇した。	
2008/11/4	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	仙台	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/4	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	新千歳	東京国際	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	瀋陽(中国)	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	小松	東京国際	進入中、左右の高揚力装置の動作が非対称となった。	
2008/11/5	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	フランクフルト	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	着陸後、外部電源を接続したが電力を供給できなかった。	
2008/11/7	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	神戸	新千歳	離陸滑走中、鳥衝突を避けるため離陸を中止した。	
2008/11/7	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	秋田	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/7	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	福岡	大阪国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/7	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	大阪国際	仙台	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/7	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	松山	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/7	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	—	—	定時整備中、非常口を示すライトの一部が点灯しないことを発見した。	
2008/11/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	大阪国際	着陸時、ギャレーからカートが通路に飛び出した。	
2008/11/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	着陸後、外部電源を接続したが電力を供給できなかった。	
2008/11/9	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	徳之島	鹿児島	降下中、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2008/11/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/11/10	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	東京国際	福岡	出発前の点検で、非常灯が点灯しないことを発見した。	
2008/11/10	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	小松	降下中、鳥衝突により機首部分を損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/11/10	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	巡航中、機内放送装置が使用できなくなった。	
2008/11/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	シンガポール	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/12	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	出雲	福岡	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/12	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	中部国際	鹿児島	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/13	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/13	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	—	—	着陸後、第1エンジン及び第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/14	ジャルウェイズ	ボーイング式767-300型	成田国際	コナ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/15	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	東京国際	新千歳	着陸承認を受けた滑走路とは異なる滑走路に進入していたため着陸のやり直しを行った	
2008/11/16	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	奄美	徳之島	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	サンフランシスコ	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	上海(虹橋)	東京国際	降下中、鳥衝突により機首部分を損傷した。	
2008/11/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	—	—	上部客室の扉を開閉する機構の部品に製造者が認めていないものが使用されていたことを発見した。	
2008/11/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	広州(中国)	関西国際	旅客降機時、ドアモードの変更を行わないまま乗降用扉を開いた。	
2008/11/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	新千歳	大阪国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	アンカレッジ	シカゴ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/11/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	青島(中国)	成田国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/18	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	成田国際	ニューヨーク	降下中、鳥衝突により左主翼高揚力装置を損傷した。	
2008/11/18	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	新潟	降下中、被雷したことにより右主翼翼端等を損傷した。	
2008/11/19	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	鳥取	東京国際	上昇中、被雷により客室中央左側非常口が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
2008/11/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	宮崎	大阪国際	降下中、被雷により右側補助翼等を損傷した。	
2008/11/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	富山	降下中、被雷により胴体前方外板を損傷した。	
2008/11/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	新潟	降下中、被雷したことにより機体を損傷した。	
2008/11/20	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	飛行中、客室内非常脱出誘導灯の配線接続部が外れ点灯しない状態であったことを発見した。	
2008/11/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	旭川	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2008/11/20	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	仙台	福岡	到着後の点検で、第2エンジンのファンブレードに異物吸引による損傷を発見した。	
2008/11/20	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	新千歳	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/21	北海道国際航空	ボーイング式737-400型	東京国際	新千歳	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/21	北海道航空	セスナ式TU206G型	札幌(丘珠)	札幌(丘珠)	降下する際、昇降舵のトリムが動かなかった。	
2008/11/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	中部国際	台北	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/22	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	鹿児島	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/11/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/25	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/11/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	上海(虹橋)	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	モーゼスレイク	モーゼスレイク	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/11/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300ER型	成田国際	ロンドン	巡航中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
2008/11/29	ジャルウェイズ	ボーイング式747-400型	成田国際	ホノルル	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/11/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	福岡	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2008/12/1	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	徳島	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/1	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	シンガポール	成田国際	巡航中、突然の気流の乱れにより高度を逸脱した。	
2008/12/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	離陸滑走中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
2008/12/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	鹿児島	出発前の点検で、非常灯の一部が点灯しないことを発見した。	
2008/12/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	—	—	定時整備中、前方貨物室扉付近のフレームにひび割れが生じているのを発見した。	
2008/12/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	運航整備中、左右の主脚格納庫に損傷を発見した。	
2008/12/3	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	熊本	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	中部国際	那覇	離陸時、鳥が衝突し右主翼の高揚力装置を損傷した。	
2008/12/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	宮崎	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/4	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400D型	新千歳	東京国際	運航整備中、客室右後方ドアに接する胴体上方角部にひび割れが生じているのを発見した。	
2008/12/5	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	アンカレッジ	着陸時、乗員休憩室内に煙が発生したことを示す計器表示があった。	
2008/12/6	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	佐賀	東京国際	離陸滑走中、鳥が衝突し機長側の速度計に不具合が発生したため離陸を中止した。	
2008/12/6	ジャルウェイズ	ボーイング式747-400型	成田国際	ホノルル	客室右側後方扉から異音がするとの報告に基づき確認中、当該扉のフレームにひび割れが生じているのを発見した。	
2008/12/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	宮崎	離陸時、客室前方のギャレー内に搭載されたリキッドコンテナが脱落した。	
2008/12/6	スカイマーク	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	福岡	管制機関から承認された高度を逸脱して上昇した。	
2008/12/7	エアージャパン	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	成田国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2008/12/8	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	香港	成田国際	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/9	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	鹿児島	東京国際	出発時、乗客用酸素マスクが落下した。落下したマスクを収容する際、収納扉をテープで固定したため一部乗客用酸素マスクが使用できなかった。	
2008/12/9	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	長崎	上昇中、機体が動揺し客室乗務員2名が負傷した。	航空事故
2008/12/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	新千歳	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/11	ジャルウェイズ	ボーイング式767-300型	グアム	成田国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/11	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-300型	大阪国際	新千歳	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	岡山	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/12/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	東京国際	岡山	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/15	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	ロサンゼルス	成田国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/15	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	—	—	交換又は一定時間毎の点検が義務づけられている補助翼の関連部品で、所定の点検等が行われていないものを取り付けられていた。	
2008/12/16	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	燃料流量計に通常使用しない単位のものを取り付けられていた。	
2008/12/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	熊本	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/20	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	宮崎	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/20	ジャルウェイズ	ボーイング式767-300型	ホノルル	成田国際	離陸時、客室前方のギャレー内に搭載されたリキッドコンテナが脱落した。	
2008/12/20	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	青森	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/21	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	中部国際	大分	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/21	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	杭州(中国)	関西国際	降下中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/21	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	熊本	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	関西国際	北京	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/12/21	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	降下中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/22	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	函館	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/22	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	鹿児島	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/22	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	新潟	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	長崎	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/23	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	徳島	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2008/12/23	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	福岡	天草	着陸時、第1エンジンのプロペラがリバースピッチに動作しなかった。	
2008/12/23	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	宮古	多良間	出発時、後方貨物室の搭載制限重量を超過していたため、スポットに引き返した。	
2008/12/23	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	大阪国際	石見	飛行中、動力系統に不具合発生を示す計器表示等があったため、当該エンジンを停止し、管制上の優先権を要請の上、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2008/12/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	東京国際	秋田	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/24	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	関西国際	ソウル(仁川)	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/26	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	北京	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	仙台	那覇	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/27	全日本空輸	ボーイング式747-400型	新千歳	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	関西国際	那覇	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2008/12/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	神戸	運航整備中、右主翼高揚力装置に鳥が衝突したことによる損傷を発見した。	
2008/12/30	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	東京国際	熊本	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/30	エア・ジャパン	ボーイング式767-300型	成田国際	上海(浦東)	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2008/12/31	全日本空輸	ボーイング式747-400型	東京国際	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2008/12/31	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	仙台	大阪国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2008/12/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	新千歳	着陸時、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
2008/12/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	神戸	降下中、鳥が衝突したことにより機首部分を損傷した。	
2009/1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	大阪国際	秋田	進入中、被雷したことにより右主翼翼端の損傷及びステアリングの不具合が発生した。	イレギュラー運航
2009/1/1	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	東京国際	関西国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/3	全日本空輸	ボーイング式777-200型	中部国際	那覇	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/4	エアーニッポン	エアバス・インダストリー式 A320-200型	新千歳	新潟	運航整備中、右昇降舵に損傷を発見した。	
2009/1/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	マニラ	着陸後の点検で右補助翼のヒンジの一部に損傷及び左昇降舵の結合部の一部に不具合が確認された	
2009/1/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	北京	関西国際	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/1/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	神戸	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	旭川	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/7	エアーニッポン	ボーイング式737-700型	中部国際	旭川	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/7	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	宮崎	東京国際	進入中、管制指示により待機する際、待機経路を逸脱した。	
2009/1/8	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-402型	福岡	関西国際	離陸直後、脚上げ操作を実施したが、左主脚格納扉が閉じていないことを示す計器表示があった。	
2009/1/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	小松	巡航中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が生じた。	
2009/1/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	仙台	那覇	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/1/10	エアーニッポン	ボーイング式737-700型	アモイ	関西国際	降下中、被雷したことにより右主翼ウイングレット等を損傷した。	
2009/1/10	エアーニッポン	ボーイング式737-800型	美保	東京国際	上昇中、被雷したことにより左側水平安定板等を損傷したため、管制上の優先権を要請の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2009/1/10	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	—	—	夜間整備中、酸素マスク落下試験を行ったところ、マスク落下時に流れる音声が流れなかった。	
2009/1/10	全日本空輸	ボーイング式737-700型	—	—	定時整備中、酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスクの一部が正常に落下しなかった。	
2009/1/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	関西国際	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	中部国際	那覇	離陸し脚上げ操作を実施したが、左主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため目的地を変更した。	イレギュラー運航
2009/1/12	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	高松	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	小松	降下中、被雷したことにより胴体前方左側外板等を損傷した。	
2009/1/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	大阪国際	進入中、被雷したことにより右前方機体外板を損傷した。	
2009/1/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	小松	降下中、被雷したことにより右側水平安定板等を損傷した。	
2009/1/13	エアージャパン	ボーイング式767-300型	成田国際	台北	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	中部国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	関西国際	アンコール (カンボジア)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	福岡	進入中、鳥が衝突し右主翼の高揚力装置を損傷した。	
2009/1/15	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	運航整備中、左主翼の高揚力装置の駆動機構に損傷が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/1/16	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	熊本	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	アンカレッジ	シカゴ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	進入中、鳥が衝突し第1エンジン及び左主翼の高揚力装置を損傷した。	
2009/1/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	久米島	那覇	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	飛行中、左側翼上非常口の緊急脱出装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/1/17	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	福岡	宮崎	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/18	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300型	関西国際	台北	上昇中、客室左前方の乗降口扉付近から空気が漏れるような音が発生したため、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2009/1/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-200型	ソウル(仁川)	中部国際	到着後の点検で、第1エンジンのブレード等が損傷しているのを発見した。	
2009/1/19	エアーニッポン	エアバス・インダストリー式A320-200型	那覇	新潟	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/19	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	成田国際	北京	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/1/20	全日本空輸	ボーイング式777-300型	東京国際	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/20	ジャルウェイズ	ボーイング式747-400型	成田国際	デンバサル	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が作動しなかった。	
2009/1/20	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	那覇	南大東	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	名古屋(小牧)	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/21	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	不適切な酸素発生装置が装着されていることを発見した。	
2009/1/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	名古屋(小牧)	帯広	降下中、正常に脚が降りていないことを示す表示であったため、脚上げ操作を実施しようとしたが、操作レバーが上がらなかった。	
2009/1/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	関西国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/1/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/22	エアーニッポン	エアバス・インダストリー式A320-200型	新潟	那覇	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	両翼の補助翼が不動作であることを示す計器表示があり、自動操縦装置の設定が一時出来なくなった。	
2009/1/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	熊本	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/23	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	関西国際	福岡	着陸時、左主脚格納扉が閉じなかった。	
2009/1/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	宮崎	大阪国際	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/1/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	小松	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/1/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/25	エアーセントラル	フォッカー式F27マーク050型	美保	中部国際	離陸滑走中、第2エンジンの防水系統に不具合発生を示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
2009/1/25	エアーニッポン	ボーイング式737-700型	中部国際	福岡	降下中、被雷したことにより右主翼翼端等を損傷した。	
2009/1/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/1/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/25	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	福岡	成田国際	出発前の点検で、操縦室内にある消火器に不具合があり取り下ろした。	
2009/1/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	高松	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	庄内	降下中、被雷したことにより左前方機体外板等を損傷した。	
2009/1/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	上昇中、最大速度を超過し、承認された巡航高度を逸脱した。	
2009/1/27	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	大阪国際	仙台	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	神戸	那覇	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/27	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	ソウル(仁川)	成田国際	上昇時、客室通路に止めたサービスカートが動き、載せていたお茶がこぼれて、乗客が火傷を負った。	航空事故
2009/1/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	成田国際	シンガポール	上昇中、乗客用の酸素マスク収納扉にテープが貼られ、開かない状態であることを発見した。	
2009/1/28	全日本空輸	ボーイング式747-400型	成田国際	パリ	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2009/1/28	エアーニッポン	ボーイング式737-500型	東京国際	紋別	飛行中、与圧システムに不具合が発生し、一時的に機内が減圧したため運航乗員が酸素マスクを使用した。	
2009/1/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/1/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	着陸後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/1/30	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	新千歳	香港	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/1/30	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-800型	—	—	運航整備中、乗客用酸素供給装置の一部が不動作であることを発見した。	
2009/1/31	全日本空輸	ボーイング式777-200型	大阪国際	東京国際	離陸時、第1エンジンに鳥が衝突し、ファンブレードを損傷した。	
2009/1/31	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	能登	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/1/31	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	山形	大阪国際	到着後、通常操作により機体前方左側の乗降用扉が開かなかった。	
2009/2/1	エアーニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-314型	新千歳	札幌(丘珠)	進入中、操縦室右側窓に亀裂が発生した。	
2009/2/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/2	エアーニッポン	ボーイング式737-700型	関西国際	鹿児島	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	名古屋(小牧)	松山	飛行前点検中、非常用照明灯の点灯試験終了後も、当該照明が消灯しなくなった。	
2009/2/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	香港	成田国際	着陸後、左右の高揚力装置の動作が非対称となった。	
2009/2/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	仙台	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/5	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	—	—	左主翼の一部に腐食が発見された。	
2009/2/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	新潟	大阪国際	降下中、運用限界速度を一時的に超過した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/2/6	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	福岡	第2エンジンの高圧圧縮機に他機種用の部品が取り付けられているのを発見した。	
2009/2/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	仙台	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/7	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	新千歳	東京国際	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/2/7	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	秋田	新千歳	離陸滑走中、第2エンジンに不具合が発生したため、離陸を中止した。	
2009/2/8	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	上海(浦東)	関西国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウインドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	上昇中、ウインドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	関西国際	東京国際	上昇中、ウインドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、ウインドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/9	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式A300B4-622R型	東京国際	旭川	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	鹿児島	東京国際	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	関西国際	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
2009/2/9	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	東京国際	岡山	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	東京国際	福岡	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2009/2/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	福岡	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/2/11	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	那覇	南大東	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	上昇中、ウインドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/2/12	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	長崎	中部国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/12	全日本空輸	ボーイング式737-500型	—	—	酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2009/2/12	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	熊本	中部国際	着陸後、エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/12	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	ロサンゼルス	成田国際	上昇時、客室後方ギャレー内のカートが飛び出した。	
2009/2/12	全日本空輸	ボーイング式767-200F型	関西国際	香港	飛行中、第2エンジンから異音が発生したため、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航した。
2009/2/13	日本航空インターナショナル	ボーイング式737-400型	那覇	中部国際	着陸後、エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	東京国際	鹿児島	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/16	エア・ジャパン	ボーイング式767-300型	成田国際	広州(中国)	離陸後、エンジンに火災が発生したことを示す表示があったため、エンジンを停止すると共に、消火装置を作動し、管制上の優先権を要請の上、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2009/2/17	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	石垣	那覇	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/17	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	大阪国際	仙台	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/17	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400F型	成田国際	香港	離陸直後、乗員休憩室内に煙が発生したことを示す計器表示があったため、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2009/2/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	宮崎	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/18	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	那覇	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/2/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/2/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	中部国際	新千歳	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-300型	台北	成田国際	運航整備中、第3エンジンの取り付け部分のパネルに損傷が発見された。	
2009/2/18	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	成田国際	マニラ	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/2/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	—	—	定時作業中、後方貨物室内のコンテナ取扱用部品に誤った部品が使用されていたことを発見した。	
2009/2/19	琉球エアコミューター	ブリテン・ノーマン式BN-2B-20型	粟国	那覇	離陸滑走中、第2エンジンの回転数が運用限界を超過した。	
2009/2/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	福岡	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/23	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	中部国際	長崎	脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示す表示があった。	
2009/2/23	日本エアコミューター	ボンバルディア式 DHC-8-402型	鹿児島	福岡	運航整備中、左主脚の構成部品に欠損を発見した。	
2009/2/25	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	大阪国際	宮崎	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/25	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	新潟	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/25	全日本空輸	ボーイング式777-200型	那覇	福岡	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/26	日本航空インターナショナル	ダグラス式DC-9-81型	大阪国際	福岡	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに異物による損傷を発見した。	
2009/2/27	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	東京国際	帯広	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/2/27	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300F型	青島(中国)	成田国際	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2009/2/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	富山	新千歳	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/3/1	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	定期整備中、機体外側後部の非常脱出用照明が点灯しないことを発見した。	
2009/3/1	エア・ネクスト	ボーイング式737-500型	那覇	石垣	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/2	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	鹿児島	那覇	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	鹿児島	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/2	全日本空輸	ボーイング式777-300型	福岡	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/2	全日本空輸	ボーイング式747-400型	東京国際	東京国際	酸素マスク落下試験を行ったところ乗客用の酸素マスク収納扉が開かなかった。	
2009/3/2	日本航空インターナショナル	ボーイング式767-300型	大連	成田国際	飛行中機体が動揺し、ギャレー内に留めおいたカートが転倒した。	
2009/3/5	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式 DHC-8-402型	福岡	大阪国際	降下中、客室内の全ての非常用照明が点灯し、操縦室内のスイッチをオフとするまで消灯しなかった。	
2009/3/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	山口宇部	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/6	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	東京国際	岡山	脚下げ実施操作を実施したが、左主脚が正常に下りていないことを示す表示があったため、着陸をやり直した。	
2009/3/6	エア・ニッポン	ボーイング式737-800型	大分	大阪国際	脚下げ操作を実施したが、すべての脚が正常に下りていないことを示す表示があったため、着陸をやり直した。	
2009/3/6	エア・ニッポン	ボーイング式737-500型	関西国際	那覇	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/3/6	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	東京国際	旭川	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/6	全日本空輸	ボーイング式747-400型	—	—	当該機種に取り付けることが認められていない非常用スライドが取り付けられていた。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/3/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	成田国際	関西国際	出発時、航法用モニターの表示が消えたためスポットに引き返した。	
2009/3/6	エアーストラル	ボンバルディア式 DHC-8-402型	新潟	大阪国際	運航整備中、乗員用酸素供給装置に不具合があることを発見した。	
2009/3/7	日本航空インターナショナル	エアバス・インダストリー式 A300B4-622R型	東京国際	高松	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/3/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	仙台	那覇	降下中、鳥が衝突したにより機首部分を損傷した。	
2009/3/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	—	—	運航整備中、第1エンジンの燃料供給弁に不具合があり、当該エンジンに正常に燃料が供給されないことを発見した。	
2009/3/9	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	新千歳	仙台	進入中、最低経路高度を逸脱した。	
2009/3/9	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	名古屋 (小牧)	福岡	離陸滑走中、逆推力装置に不具合を示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
2009/3/9	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	新潟	名古屋 (小牧)	巡航中、逆推力装置に不具合を示す計器表示があったため、着陸時に使用できなかった。	
2009/3/11	日本航空インターナショナル	ダグラス式MD-90-30型	南紀白浜	東京国際	到着後、第1エンジンを通常の手順により停止することが出来なかった。	
2009/3/11	ジャルウェイズ	ボーイング式777-200型	ジャカルタ	成田国際	離陸時、鳥が衝突したことにより、機首部分を損傷した。	
2009/3/12	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	熊本	名古屋 (小牧)	着陸後の点検で、前脚のホイールが変形していることを発見した。	
2009/3/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	大阪国際	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/14	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	東京国際	熊本	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/14	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	上海(虹橋)	東京国際	離陸直後、第2エンジンに鳥が衝突し、ファンブレードを損傷したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2009/3/15	ジャルウェイズ	ボーイング式747-300型	ホノルル	中部国際	運航整備中、第3エンジンのファンブレードが異物吸引により、損傷していることを発見した。	
2009/3/16	全日本空輸	エアバス・インダストリー式 A320-200型	佐賀	東京国際	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/16	スカイマーク	ボーイング式767-300型	—	—	定時整備中、機体外側右後部に設置された、非常脱出用照明が不点灯であることを発見した。	
2009/3/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	北九州	東京国際	進入中、ウィンドシアー検出装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2009/3/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	那覇	仙台	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/19	エアネクスト	ボーイング式737-500型	石垣	那覇	出発時、航空機衝突防止装置が不動作となり、スポットに引き返した。	
2009/3/19	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400型	バンコク	中部国際	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/3/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	那覇	久米島	上昇中、高揚力装置を駆動する機構が破損したため、出発空港に引き返した。	イレギュラー運航
2009/3/20	スカイマーク	ボーイング式767-300型	福岡	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/3/20	ジャルエクスプレス	ダグラス式DC-9-81型	仙台	大阪国際	着陸許可を受け進入中、他機が滑走路に進入したため、管制塔の復行の指示に従った。	重大インシデント
2009/3/20	全日本空輸	ボーイング式777-200型	大阪国際	東京国際	他機への離陸許可を、自機への許可と認識し、滑走路に進入したため、当該滑走路への進入機が管制塔の指示により復行した。	重大インシデント
2009/3/21	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	東京国際	広島	着陸時、左主翼の高揚力装置の一部が滑走路上に脱落した。	イレギュラー運航
2009/3/21	スターフライヤー	エアバス・インダストリー式 A320-214型	東京国際	北九州	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/3/21	ジェイエア	ボンバルディア式 CL-600-2B19型	大阪国際	山形	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/3/22	琉球エア・コミュニティー	ボンバルディア式 DHC-8-314型	那覇	与論	着陸時、客室側面にあるライトのカバーが脱落した。	
2009/3/23	全日本空輸	エアバス式A320-211型	能登	東京国際	出発時、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があったためスポットに引き返した。	
2009/3/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	宮崎	出発前の点検で、客席側面の非常灯が点灯しないことを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	出発地	目的地	事態の概要	備考
2009/3/23	日本航空インターナショナル	ボーイング式777-200型	中部国際	パリ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/24	スターフライヤー	エアバス・インダストリー式A320-214型	北九州	東京国際	降下中、航空機衝突防止装置が不動作となった。	
2009/3/25	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	大阪国際	降下中、被雷したことにより左主翼の高揚力装置を損傷した。	
2009/3/25	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	種子島	鹿児島	上昇中、第1エンジンから異音が発生したため、当該エンジンを停止した。着陸後の点検でエンジンが破損していることを発見した。	重大インシデント
2009/3/25	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	長崎	福江	離陸許可を受領し、滑走路に進入した際、当該滑走路に進入中の他機が進入を中止した。	重大インシデント
2009/3/25	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	東京国際	長崎	航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/3/25	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	長崎	東京国際	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2009/3/25	全日本空輸	エアバス式A320-211型	中部国際	函館	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/25	ANA&JPエクスプレス	ボーイング式767-300F型	バンコク	成田国際	離陸時に被雷したことにより、機体左前方下面の外板等を損傷した。	
2009/3/25	日本航空インターナショナル	エアバス式A300B4-622R型	東京国際	鹿児島	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/3/25	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	東京国際	新千歳	脚下げ操作を実施したが、左主脚が正常に下りていないことを示す表示があったため、脚下げ操作をやり直した。	
2009/3/25	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-400型	仙台	大阪国際	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/26	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	—	—	前方化粧室内の酸素マスクの収容ケースが誤って取り付けられていたことを発見した。	
2009/3/26	全日本空輸	ボーイング式777-200型	東京国際	岡山	上昇中、被雷したことにより垂直尾翼の先端を損傷した。	
2009/3/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	アンカレッジ	成田国際	着陸後の点検で、右主翼下面のパネルが脱落しているのを発見した。	
2009/3/26	エアージャパン	ボーイング式767-300型	成田国際	ホノルル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/27	日本航空インターナショナル	ボーイング式747-400D型	那覇	東京国際	飛行中、左主翼の外側補助翼が正常な位置にないことを示す計器表示があり、着陸後の点検で当該補助翼の接合部に不具合が発見された。	
2009/3/28	学校法人ヒラタ学園	ユーロコプター式EC135T2型	久米島病院 場外	首里場外	巡航中、第1エンジンに不具合が発生したため、当該エンジンを停止した。着陸後の点検で、エンジン内部に大規模な破損を発見した。	重大インシデント
2009/3/28	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	那覇	鹿児島	着陸時、燃料油量表の表示に不具合が発生した。	
2009/3/28	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	新潟	大阪国際	進入中、抽気系統の異常を示すライトが点灯した。	
2009/3/29	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	中部国際	鹿児島	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/3/29	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	那覇	宮古	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/3/29	エア・ニッポン	ボーイング式737-700型	那覇	宮古	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2009/3/29	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	成田国際	上海(浦東)	着陸時、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2009/3/30	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-314型	函館	札幌(丘珠)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/30	エア・ニッポンネットワーク	ボンバルディア式DHC-8-402型	福岡	関西国際	第2エンジン始動時、プロペラピッチが変更できなかったため、エンジンを停止した。	
2009/3/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	新千歳	東京国際	巡航中、前方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
2009/3/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	大阪国際	新千歳	上昇中、航空機衝突防止装置が回避指示に従って回避操作を行った。	
2009/3/31	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	東京国際	関西国際	進入中、電波高度計に不具合が発生し、対地接近警報装置が不動作となったことを示す計器表示があった。	
2009/3/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	東京国際	熊本	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	